

# 長野日報

Nagano Nippo

題字デザイン：原田泰治氏

4月25日(日)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 0266-52-2000(代)

©長野日報社2021

# 駒ヶ根市23年ぶりV

## 諏訪勢 諏訪市の13位最高

### 県市町村対抗駅伝

第30回県市町村対抗駅伝 町村が参加して松本平広伝競走大会は24日、36市 域公園陸上競技場を発着

する9区間43・785キロのコースで行い、駒ヶ根市が2時間19分28秒で23年ぶり3度目の優勝を果した。3連覇を狙った松本市が27秒差の2位となり、前回2位の長野市が3位に続いた。



2年ぶり開催の県市町村対抗駅伝で、7区栗原賢(左、清陵付中)から8区池田悠司(松本大)にたすきをつなぐ諏訪市=第7中継所

1区で7位スタートの駒ヶ根市は2区でトップに浮上し、4区宮下晴貴(ニッパツフレックス、東海大三高出)の区間優勝の活躍などでリードを拡大。7区終了時点で松本市に6秒差まで迫られたが、8区高梨良介(トイハツマリーン、東海大三高出)が区間3位と踏ん張って再び後続との差を広げ、最後まで順位を守り切った。

諏訪勢は諏訪市の13位が最上位。下諏訪町が15位で町の部3位に入り、岡谷市が19位だった。

最優秀選手賞は駒ヶ根市の宮下が受賞。最優秀新人選手賞の男子は2区区間優勝の南澤道大(駒ヶ根市)、女子は1区区間優勝の真柴愛里(伊那市)が選ばれた。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止されたため、2年ぶりの開催。今大会は47市町村46チームがエントリーしていたが、感染再拡大を受けて茅野市、富士見町、原村など10チームが出場辞退した。

### 総合成績

(9位以下関係分)

- ①駒ヶ根市 2時間19分28秒  
(小川、南澤、菅沼、宮下、出澤、森脇、下島、高梨、保科)
- ②松本市 2時間19分55秒
- ③長野市 2時間21分44秒
- ④箕輪町 2時間22分45秒
- ⑤小諸市 2時間23分47秒
- ⑥安曇野市 2時間23分51秒
- ⑦東御市 2時間24分2秒
- ⑧高森町 2時間24分53秒
- ⑬諏訪市 2時間28分40秒  
(御子柴、藤森、遠藤、矢花、小林汰、齋藤、栗原、池田、小林季)
- ⑮下諏訪町 2時間30分11秒  
(山崎、ロバーツ、林幸、渋谷、松尾、田村、林賢、赤間、西中山)
- ⑰岡谷市 2時間33分41秒  
(宮坂、五味、小松、宮田、田畑、佐藤希、神谷、佐藤龍、西澤)

### 町の部成績

- ①箕輪町 2時間22分45秒
- ②高森町 2時間24分53秒
- ③下諏訪町 2時間30分11秒

### 村の部成績

- ①宮田村 2時間32分0秒
- ②白馬村 2時間33分35秒
- ③豊丘村 2時間37分37秒